

令和3年度の市民後見人養成状況及び 今後の方向性について

令和4年3月22日(火)

ちがさ貴族 波の精霊
えぼし麻呂 & ミーナ



社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会
生活支援担当 担当主査 横山康洋

実践研修にあたり、ご講義賜り、ありがとうございました

ちがさ貴族 波の精霊
えぼし麻呂 & ミーナ



皆様のおかげで無事研修
終了いたしました。

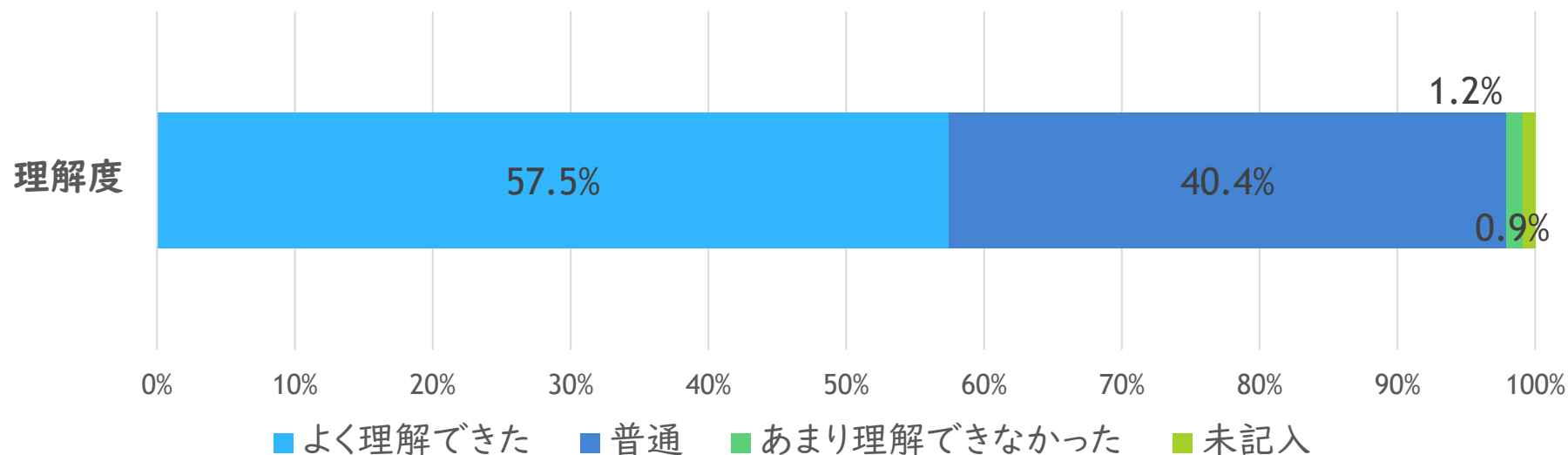
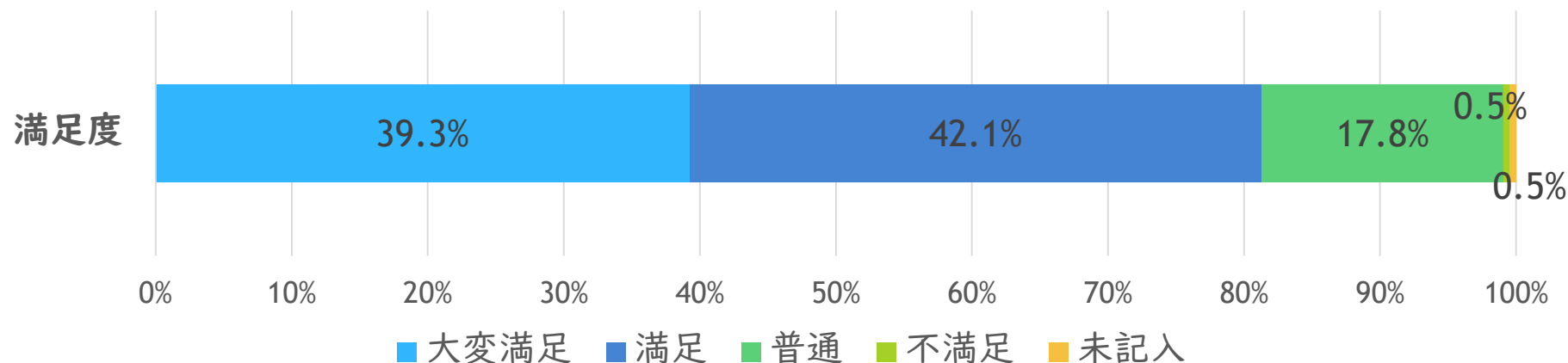
これからも
よろしくお願いします。

令和3年度の養成状況：第3期

講座・会議	開催日程	カリキュラム／内容等	備考
基礎研修	令和3年 7～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見概論 ・対象者理解（高齢者・障がい者） ・成年後見制度概論/総論 	全15講オンラインと 選択試験・作文
実践研修 （8日間）	令和3年 10～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人等の実務（申立て～書類作成等） ・関係制度、地域の制度施行等の取組現状 ・家庭裁判所の役割・見学 ・体験実習（高齢/障がい施設）フィールドワーク ・課題演習（事例報告と検討） ・修了試験（選択・論述） 	体験実習については 代替講義
修了認定 審査会	令和4年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員による審査 （修了試験（選択・論述）、出欠状況・講義姿勢・ 態度、及びグループワーク等状況） 	
法人後見サ ポーター登録 説明会／面談	令和4年 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・修了証書授与 ・サポーター活動の説明 	

実践研修アンケート結果

実践研修の内容について



本市の市民後見人養成の状況

項目	合計	第1期生	第2期生	第3期生
①基礎研修 (神奈川県社協)	3回	H28年度	H30年度	R3年度
②実践研修	3回	H29年度	H31年度	R3年度
③実践研修受講者	27名	8名	3名	16名
④修了認定者	20名	5名	3名	12名
⑤法人後見サポーター登録	7名	4名	3名	12名登録手続き中
⑥法人後見バンク登録	7名	4名	3名	R4年度下半期予定
⑦受任(市民後見人として活動中)	2名	2名	0名	-
⑧備考		令和2年度受任	3/29に1名受任調整会議予定	

今後の予定

項目	日程	内容等
法人後見サポーター兼生活支援員	令和4年 4月～	・法人後見の支援同行 ・生活支援員研修（県社協主催） ・日常生活自立支援事業 あんしんセンター生活支援員としての活動支援 利用者支援（実務）
市民後見人 バンク登録	令和4年 10月～	・面接と意向確認
受任に向けた支援	案件が出た際、 随時	・受任調整会議 ・推薦 ・審判後のフォロー
フォローアップ・バックアップ	令和4年 4月～	・次スライド 市民後見人候補者のフォローアップとバックアップについて
法人後見サポーター登録 更新／面談	令和5年 3月	・年度の振り返り、更新意向確認

市民後見人候補者のフォローアップ とバックアップについて

- ・市民後見人養成講座の一部開放
- ・修了者情報交換会
- ・名簿登載者研修
- ・法人後見サポーター研修
- ・成年後見支援ネットワーク勉強会に出席
- ・後進の育成
- ・職員による相談
- ・専門職への相談
- ・職員への定期的な報告
- ・受任している方のケース会議への出席



市民後見人について

		第三者後見			親族後見
		専門職後見	法人後見 市社協	市民後見	
財産管理	取り扱う財産の多寡	多	多	少	少
生活課題	本人を取り巻く生活の状況と成年後見人等の業務の関係	困難・複雑	困難・複雑	輕易	輕易
身上監護(見守り)	本人とのコミュニケーションや見守り活動の頻度	定例的	定例的	日常的	日常的(毎日)
意思決定	受けているサービス内容の確認や余暇等への関わり	客観的	客観的	細やか・客観的	主観的
地域資源	本人の支援に当たってのサービスの選択	フォーマル中心	フォーマル中心	インフォーマル活用	フォーマル中心
制度の波及効果	成年後見人等の活動が周囲に与える影響	関係者	関係者	地域住民	近親者
					地域福祉

今後の方向性と課題

○養成期間

- ・基礎研修、実践研修を2年度→単年度実施
- ・実務研修～バンク登録 従前の1年度より短縮

○受任調整について

- ・日常生活自立支援事業からの移行案件
- ・法人後見からの辞任・選任案件
- ・市長申立案件
- ・士業のみなさまからの辞任・選任案件

○今後学んでいった方が良いことについて

- ・実践の中での経験談（医療同意、死後事務、施設等との関係）

今後の展開等

- * みんながつながるちがさきの地域福祉プラン2
- * 基本目標3「支え合う」
- * 重点的な取り組み
- * 成年後見制度の普及・利用促進
- * 関係機関等との連携による
本人を中心としたチーム支援

成年後見制度利用促進基本計画

「みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン2」と一体的に策定

概要版

みんながつながる ちがさきの 地域福祉プラン2

令和3年度～令和7年度



令和3年3月

茅ヶ崎市
茅ヶ崎市社会福祉協議会

取り組みの展開

①広報・周知を通じた 理解促進・啓発活動

- 制度や相談窓口についての広報活動、権利擁護意識の向上を図る取り組み等。
- 任意後見制度を活用した事前の対策についての周知。

②早期に支援に つなげる体制づくり

- 相談窓口の明確化と広報。
- つなぎ役を担う地域の関係者や関係機関と連携し、制度が必要な人に対する早期支援体制の検討。

③利用しやすい 制度運営

- 本人の意思を最大限尊重したチームでの意思決定支援。
- 本人や親族に対して、申立て等の支援。
- 地域や関係機関と連携して、申立て人がいないために制度を利用できていない人を早期に発見し、迅速な市長申立てを実施。
- 申立て費用や後見報酬の助成件数の拡大など、助成の在り方の検討。

④地域の 関係機関同士の ネットワークの構築

- 専門職や関係機関の連携の強化。
- 関係者が「チーム」※となり、本人や親族を支援。
- 中核機関の設置に向けた検討。
- 本計画の評価及び進行管理を行う審議会の設置を検討。

⑤専門的人材の 育成支援

- 市民や地域の関係者、事業者などを対象とした講演会などを開催。
- 市民後見人を養成し、成年後見人等として選任後も研修等により継続的な活動支援を行う体制を整備。
- 必要に応じて、専門職団体（弁護士会、司法書士会、行政書士会、社会福祉士会等）と連携を図り、相談支援に関わる者を対象とした講座や研修会等の企画・開催。

引き続きよろしくお願いします

権利擁護推進のため
には、地域の皆さまと
連携をはかることがと
ても重要です。

これからよろしくお願いします。

ちがさ貴族 波の精霊
えぼし麻呂 & ミーナ

